

●ライブ配信とは？

オンデマンド配信のようにもともと作成しておいた動画ファイルを配信するのではなく、撮影している映像をリアルタイムにユーザーへ配信するのがライブ配信です。
TVの生中継のようなもので、直接イベント会場などへ行かなくてもインターネット回線を利用してPCやスマートフォンなどで会場の模様が視聴できます！

〈システム構成例〉



●ライブ配信に必要なもの

項目	概要	数量
入力機器	カメラやパワーポイント用のPC等	一式
映像スイッチャー	入力機器が2つ以上の場合に、映像切り替えに使用	1台
エンコーダー	映像をネットに配信する機器 ハードウェアorソフトウェアから選択	1台
キャプチャーデバイス	映像をPCに取り込む機器 ソフトウェアエンコーダーを使用する場合	1台
音響機器	マイクの本数が多い場合には音響ミキサーを使用	一式
エンベデッター	映像にマイクの音声を合成する機器	1台
配信閲覧デバイス	配信が正常に行われているか、視聴者ページを表示して確認 PCブラウザや携帯アプリ等	1台
各種ケーブル	HDMIケーブル、LANケーブル、マイクケーブル、USBケーブル等	一式

●無料サービスと有料サービス

ライブ配信を行う場合、まず目的に合わせたサービスの選択が重要となります。
無料動画配信サービスで手軽に始めることもできますが、
用途や内容によっては有料動画配信サービスを利用した方が良い場合もあります。
違いを比較し、それぞれのメリット・デメリットを把握した上でサービスを選択しましょう！

	無料動画配信サービス	有料動画配信サービス
安全性	○	◎
SNS・SEO連携	◎	○
コンテンツ保護	×	○
カスタマイズ性	×	○
サポート	×	○

Check!

無料サービスは「手軽さ・拡散性・SEOに強い」といったメリットがあり、コストをかけずに、より多くの人に動画コンテンツの共有することができます。ただし「セキュリティの担保や公開後のコントロールが難しい」などといったデメリットがありますので、取扱いの注意が必要な動画の配信には不向きです。一方、有料サービスは「セキュリティ管理・カスタマイズ性・サポート」が充実しており、拡散性よりもセキュリティを高めたい場合など、クローズドな環境での配信に向いています。その分「高額なコスト」がかかりますので、オーバースペックにならないよう注意しましょう！

●オープン配信とクローズド配信

ライブ配信は「誰に対して配信するのか」を選択する必要があります。
参加者を選別せずに誰でも視聴できる「オープン配信」と、
参加用にパスワードやURLなどを配布して特定の人だけに配信する「クローズド配信」があります。
大きく2つの公開方法がありますので、予め確認しておきましょう！

	オープン配信	クローズド配信
公開方法	一般公開	限定公開
対象	不特定多数	特定の人(自社の社員や会員など)
特徴	シーン例) 発表会・スポーツ・コンサート など公開イベント	シーン例) セミナー・会議・学校講義 など非公開コンテンツ

ライブ配信パッケージ

＼セッティング～本番までを一括サポートいたします！／

〈ベーシックプラン〉

ビデオカメラやパワーポイントなど、
任意の映像を配信するお手頃簡単プラン！
配信したい入力機器が1つに限られる場合に最適なプランです。
入力機器はプラン料金に含まれていませんので、
ご用意いただくか、もしくは別途御見積り手配いたします。

〈セット内容〉

- マルチコンバーター
- 配信用ノートパソコン
- ケーブル式
- オペレーター1名

〈スイッチングプラン〉

ベーシックプランに映像スイッチャーが含まれたプラン！
講演会やセミナーのインターネット中継に最適です。
複数の映像ソースを切替えたり組み合わせたりすることが可能です。

〈セット内容〉

- 4chマルチスイッチャー
- スイッチャー用小型モニター
- マルチコンバーター
- 配信用ノートパソコン
- ケーブル式
- オペレーター2名

or

目的に合わせてプランをお選びいただけます！